

周南市在宅医療・介護連携推進事業の体制イメージ

あ・うんネット周南

(周南市在宅医療介護連携推進)

～誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けられる周南市の実現に向けて～

地域のめざす理想像
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

在宅医療介護連携会議

★ 全体会議

市内医療・介護・行政の18機関の在宅医療介護連携の責任者および各ワーキング参加者による方針検討、進捗状況の共有、ワーキングへの提言などの場

★ ワーキング会議

テーマ別の作業部会。PDCAサイクルに沿った取組が可能となるよう、他の地域支援事業とも連携しながら3年間継続して、現状把握・分析、対応策の検討、計画、市民への普及啓発、評価などに取り組む。状況に応じて関係者の研修なども実施。各ワーキングは、ワーキングコアメンバーが中心となって企画、運営。テーマは3年ごとに見直す。

ワーキングのコアメンバーの集合体。事業全体の進捗管理や全体会議の企画、運営を担う。

★ コアメンバー会議

令和3・4・5年度ワーキング

★在宅療養・看取りワーキング

ワーキング
コアメンバー

★認知症ワーキング

(認知症総合施策推進事業と連携)

ワーキング
コアメンバー

★介護予防・自立支援ワーキング

(介護予防・日常生活支援総合事業、地域リハビリテーション活動支援事業と連携)

ワーキング
コアメンバー

事務局(市地域福祉課)

全体会議やワーキングの事務局。事業実施主体として、現状把握・分析、施策立案、地域住民への普及啓発などを行う。

医師会

市在宅医療介護連携支援センター

在宅医療・介護連携に関する相談支援

周南ケアねっと

医療や看護、介護に関わるスタッフ間での情報共有

連携

連携

有志団体・グループ

連携

各機能団体

周南市の方針に基づく取組の推進

在宅医療介護連携推進事業の構成

(在宅医療・介護連携推進事業の手引き 令和2年9月厚労省老健局)

これまで取り組んできた(ア)から(ク)までの8つの事業項目を踏まえつつ、他の地域支援事業等と連携しながら、地域の実情に応じPDCAサイクルに沿った取組を進められるよう、以下の考え方で事業構成の見直しが行われた。

- ・現状分析や課題把握、企画・立案等に関する事業の整理、取組趣旨の明確化
- ・地域の実情に応じた取組が可能となるよう、事業選択を可能に。
- ・他の地域支援事業に基づく、事業と連携し実施するよう明確化
- ・最近の動向(看取りや認知症への取組の強化)の観点を踏まえることを明確化